

アジア太平洋地域大規模地震・火山噴火リスク対策 (G-EVER) コンソーシアム: 新たな防災減災活動

G-EVER Consortium: the new earthquake and volcanic hazards mitigation activities

宝田 晋治^{1*}, G-EVER 推進チーム¹

Shinji Takarada^{1*}, G-EVER Promotion Team¹

¹ 産総研地質調査総合センター

¹ Geological Survey of Japan, AIST

2011年1月の新燃岳噴火, 同3月の東北地方太平洋沖地震など, 我が国では火山, 地震活動が連続して発生し, 一旦大規模な火山噴火, 地震・津波が発生すれば社会に甚大な影響を与えることが明らかとなった. アジア太平洋地域の地震及び火山災害軽減, リスク対策は, 現在各国でさまざまな活動が行われているが, 各研究機関, 関連組織の協力体制の確立, 防災関連情報の共有化等が必要とされてきている. 産総研地質調査総合センターは, アジア太平洋地域の地震・火山防災, リスク対策を議論するため, 2012年2月22-24日, 第1回アジア太平洋大規模地震・火山噴火リスク対策ワークショップ (G-EVER1) を開催した. アジア太平洋諸国を中心に, 12カ国, 56の機関から152名が集まった. 3日目に行われた討論会では, 今後のG-EVERの活動について活発に議論され, 下記の10項目がG-EVER1 Accord (協定) として採択された. (1) アジア太平洋地域の協調, 自然災害軽減のためコンソーシアムを設立, (2) 災害時に役立つ各種災害情報の整備, 共有, (3) G-EVER Hub サイトの構築, (4) データ交換, 共有, 分析のための国際標準化の推進, (5) 既存のV-Hub, IRDR, GEM, GVM, WOVOdat等の各種プロジェクトとの連携, (6) "borderless world of science" を推進, 世界基準ハザードマップの作成, (7) 研究者, ポスドク, 学生等相互交流の推進, (8) 各種ワーキンググループの設立, 個別のテーマ毎に横断的な活動を推進, (9) 各種アウトリーチ活動の積極的な推進, (10) 2年毎にG-EVER国際会議を開催. 以上のG-EVER1協定の理念に基づき, G-EVERコンソーシアムが設立され, 各種の活動を開始している. また, G-EVER活動を円滑に進めるため, 2012年11月より産総研内にG-EVER推進チームが発足した. 推進チームでは, (1) ワーキンググループの設置, (2) 各種情報共有のためのG-EVER Hub サイトの構築 (<http://g-ever.org>), (3) 標準化の推進, 技術移転を目的としたワークショップ・講習会を開催, (4) G-EVERシンポジウム, 国際会議の開催, (5) 普及活動の推進, (6) 国際機関との連携等を進めていく予定である. 2013年3月11日には, 産総研において, 第1回G-EVER国際シンポジウムを開催した. また, 2013年10月19-20日に, 仙台において, 第2回G-EVER国際シンポジウムの開催を予定している. 現在, (1) 巨大地震のリスク評価WG, (2) 巨大噴火のリスク評価WG, (3) 次世代型火山災害予測システムWG, (4) 活断層カタログWG, (5) アジア太平洋地域地震火山ハザードマッププロジェクトの4つのワーキンググループと1つの国際プロジェクトが進行中である.

アジア太平洋地域地震火山ハザードマッププロジェクトでは, 各種のアジア太平洋地域の地震及び火山データベースと連動した, 地震及び火山災害情報, リスク情報をインターネット上で検索表示できるシステムを構築する計画である. 過去の地震や火山噴火の規模, 災害の規模ごとに地図上に表示する機能に加えて, 地震, 津波災害の分布, 降下テフラ, 火砕流堆積物等の火山噴出物の分布等を表示する機能など, 災害履歴や災害予測情報の比較検討が容易にできるシステムを開発する. また, 本システムは, GEM (Global Earthquake Model) による地盤情報等を考慮した地震災害評価システム, GVM (Global Volcano Model), スミソニアン火山DB, 日本第四紀火山DBを取り込んだ最新の次世代型地震火山ハザードマップシステムとする予定である. 本プロジェクトは, アジア地域の地質調査機関によるCCOP(東東南アジア地球科学計画調整委員会)加盟国や, アメリカ, カナダ, 中南米, ロシア, オーストラリア, ニュージーランド等の環太平洋の国々と協力の上, 進めていく計画である.

キーワード: アジア太平洋, 地震, 火山, リスク, G-EVER, 防災

Keywords: Asia-Pacific, earthquake, volcano, risk, G-EVER, hazard mitigation